



〔令和 7 年度入学試験問題：後期〕

小 論 文

(120 分)

人 間 文 化 学 部

地域文化学科

人間関係学科

国際コミュニケーション学科

注 意 事 項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子および解答冊子の中を見てはいけません。また、解答開始の合図があるまで、筆記用具を使用してはいけません。
2. 問題は 3 学科共通です。
3. 問題は 2 題で、8 ページあります。
4. 解答開始後、解答冊子の表紙所定欄に受験番号、氏名をはっきり記入しなさい。表紙にはこれら以外のことを書いてはいけません。
5. 解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入しなさい。解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがあります。
6. 解答冊子は、どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。解答冊子を持ち帰ってはいけません。

問題 1 次の文章は、猪谷誠一著「文化を育む「よい観客」とは」の一部である。これを読んで、後の問い(問1，2)に答えよ。

(猪谷誠一著「文化を育む「よい観客」とは」、『広告』417号、2023年。出題にあたりルビを付すなどの必要な改変を行っている。)

注

- (1) 音声合成技術とその応用ソフトである「ボコーロイド」の略。これにキャラクターを合成した初音ミクが最も有名。ボカロで楽曲を提供するプロデューサーは「ボカロ P」と呼ばれる。
- (2) シンガーソングライターの中島みゆきが 1989 年から行っている舞台。コンサートでも演劇でもミュージカルでもない「言葉の実験劇場」がコンセプト。
- (3) 芝居をよく見慣れていて、物の見方の上手な人。
- (4) 1933-2013。コラムニスト，広告評論家。
- (5) 1936-2011。落語家。破天荒な性格で知られる。
- (6) 2006 年に配信を開始した動画配信サービス。画面上の横方向にコメントが流れる機能があり，これらのコメントが画面全域を覆うことは「弹幕」と呼ばれる。
- (7) 集団内の模倣行動で様々な情報が伝わること。インターネットで情報が模倣，改変，拡散される現象は「ネットミーム」もしくは略して「ミーム」と呼ばれる。
- (8) ここでは，ブログなどに投稿された個々の記事のこと。
- (9) 音楽配信など一定期間定額で商品やサービスを利用できるもの。利用者への商品推薦（レコメンデーション）を伴うものが多い。

問 1 下線部①「そもそも「よい観客」とはどんな存在なのだろうか」とあるが，筆者の考える「よい観客」とはどのようなものか，本文中の言葉を用いて説明せよ。字数制限は設けないが，解答用紙の枠内に収めること。

問 2 下線部②「最近の情報環境の下ではよい観客が育つこと自体も難しくなっていないだろうか」とあるが，このことについてのあなたの考えを論じよ。字数制限は設けないが，解答用紙の枠内に収めること。

問題 2 次の文章は、津田正太郎著『ネットはなぜいつも揉^もめているのか』の一部である。これを読んで、後の問い(問1，2)に答えよ。

(津田正太郎著『ネットはなぜいつも揉めているのか』，筑摩書房，2024年。出題にあたり縦書きを横書きに改め，一部漢数字を算用数字に改めたり原注を略したりするなどの必要な改変を行っている。)

注 特定の対象や状況に対する強い興味や魅力を感じる心理的傾向を意味するフェティシズムの略。

問 1 下線部「②だけを突き詰めると公共性は息苦しくなりますし、③だけを追求しても実質的な排除を引き起こしかねません」とはどういうことか、本文中の言葉を用いて説明せよ。字数制限は設けないが、解答用紙の枠内に収めること。

問 2 本文では、現実空間における公共性が論じられている。この議論をインターネットやソーシャルメディアなどの情報空間に置き換えた場合、そこでの公共性の問題はどのように理解できるか、具体例を挙げながら、本文中の言葉を用いて説明せよ。また、情報空間でどのようなことに気をつけるべきか、あなたの考えを述べよ。字数制限は設けないが、解答用紙の枠内に収めること。